

競技注意事項

- 1 各校引率教員は、競技会開始30分前までに受付をすませておくこと（教員の受付がないとき、選手は競技に出場できない）。
- 2 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- 3 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技をおこなう。
- 4 招集時間は、トラック競技は競技開始40分前から始め、20分前で完了とし、フィールド競技は競技開始50分前から始め、30分前で完了とする。棒高跳については、競技開始90分前に始め、60分前で完了とする。（招集時間に遅れた者は、棄権とみなし出場を認めない。）
混成競技については、第1種目開始の40分前から始め、20分前で完了とする。第2種目以降は競技開始5分前に競技場で行う。2日目の第1種目についてはプログラム記載の招集時間に行い、それ以降の種目については1日目と同様に行う。
- 5 リレー競技のオーダー用紙提出について
 - (1) 予選については、招集完了の30分前までに提出する。
 - (2) 3日目の女子4×400mR予選については、8:50までに提出する。
 - (3) 準決勝・決勝については、招集開始1時間前までに提出する。
 - (4) 提出時間に遅れたチームは、棄権とみなし出場を認めない。
- 6 ナンバーカードについて
トラック種目・投擲種目については胸背部に確実につけること。また、トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方にきちんとつけること。なお、腰ナンバーカードは主催者で用意する。
跳躍種目については、背または胸につけるだけでもよい。
- 7 使用器具は、原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「やり」については私物を使用してもよい。私物を使用する場合には検査を行い、「やり」については一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。なお、検査については次のとおりとする。

検査時間	招集開始1時間前から 招集開始時刻 まで
検査場所	ポール・・・現地 やり・・・南側器具庫（フィニッシュライン付近）

- 8 競技の番組編成について
 - (1) トラック競技の準決勝・決勝進出者の発表は、アナウンスと共に記録掲示板にも掲示する。
 - (2) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大し、より細かくタイムを判定して出場者を決定する。それでも決定できないときは、抽選とする。（競技規則第167条）
上記以外の同記録の場合も同様とする。
- 9 フィールド競技は、すべて計測する。
走高跳・走幅跳・三段跳は2ピットで行う。なお、三段跳の踏切板は男子12m、女子10mとする。

<バーの上げ方>

(男子) 走高跳 **練習 (1m75 1m90)**

1m80 1m85 1m88 1m91・・・(以後3cmずつ)

棒高跳 **練習 (3m50 4m20 4m60)**

3m60 3m80 4m00 4m20・・・(以後10cmずつ)

八種 走高跳 **練習 (1m35 1m50)**

1m40 1m45 1m50 1m55 1m60・・・(以後3cmずつ)

<バーの上げ方>

(女子) 走高跳 練習 (1m40 1m55)

1m45 1m50 1m55 1m58・・・(以後3cmずつ)

棒高跳 練習 (2m10 2m60 3m10)

2m20 2m40 2m50・・・(以降10cmずつ)

七種 走高跳 練習 (1m20 1m35)

1m20 1m25 1m30 1m35 1m40・・・(以後3cmずつ)

- 10 各種目の得点は、1位6点、2位5点・・・・・・6位1点とする。
- 11 各種目6位までの入賞者は、成績発表後ただちに東海大会出場の手続きを本部にて行うこと。
(東海大会出場者は各種目6位とする。ただし、走高跳・棒高跳は6位6名とする。また、混成競技と競歩、女子三段跳、女子ハンマー投については4位とする。また、女子棒高跳は4位4名とする)
- 12 表彰について
(1) 男女総合は6位まで表彰する。
(2) 男女トラックの部、フィールドの部は3位まで表彰する。
(3) 各種目6位までの入賞者は賞状を授与する。
- 13 全天候型トラックなので、トラック・フィールド共にスパイクのピンの長さは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は12mm以下のものを使用すること。
- 14 棒高跳については、天候不良の場合、翌日に変更することもある。
- 15 更衣室のロッカーは使用してもよいが、カギは必ず当日中に返却をして中を空にすること。守られない場合は、更衣室の利用を禁止する場合もある。
- 16 出したゴミについては、各校が責任を持って持ち帰ること。また、競技終了後はボランティアにより清掃活動に入るので、ミーティング等は競技場の外で行うこと。

<清掃当番校>

5月18日(金) 愛知 名古屋大谷

5月19日(土) 愛工大名電 至学館

5月20日(日) 名古屋西 名東

- 17 トレーナールームでテーピングを希望する選手は、必ずテーピングを持参すること。
- 18 北陸上競技場でのウォーミングアップは、芝生の使用および投擲練習はできない。なお、器具を使用した場合は、責任を持って元の場所に返却をすること。また、レクリエーション広場での投擲練習は厳禁とする。
- 19 携帯電話、ビデオ、MDプレーヤー等の電子機器類を競技場内に持ち込むことはできない。
- 20 男女ハンマー投、男子5000mW、女子5000mWにおいて、下記の記録をクリアしていない選手は、プログラムに記載されているが本大会には出場できない。なお、競歩については下記の時間で競技を打ち切る。

男子 ハンマー投 35m以上

男子 5000mW 28分以内 (打切時間 30分)

女子 ハンマー投 25m以上

女子 5000mW 33分以内 (" 35分)

- 21 本競技場での練習は、大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技時間のNo.3までの種目とし、1日目は9:30、2日目以降は9:00までとする。それ以降の種目については北陸上競技場で行うこと。なお、本競技場での練習においては、器具類は使用できない。

また、本大会に参加していない選手の本陸、北陸上競技場での練習は一切認めない。

22 競技場周辺での練習については、一般の方の迷惑になるような行動は慎むこと。具体的には、山崎川周辺道路での集団でのランニングは認めない。

23 集団応援について

フィールド競技進行中は、メガホン等を使用した集団での応援を禁止する。

24 写真・ビデオ撮影について

生徒たちのため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。

<観客席からの撮影制限について>

1 観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。

◆各種目のスタート後方

◆走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◆走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。

4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。